

2019「第5回目白大学」



Korean
Film
Festival

韓国映画祭

2019年11月2日(土)

場所:目白大学新宿キャンパス

1号館2階(01200)



「1987、ある闘いの真実」



「外人球団」

上映時間と日程

12:00 ~ 12:20	受付
12:20 ~ 12:30	挨拶
12:30 ~ 12:40	上映映画紹介
12:40 ~ 14:50	映画上映(01200)
15:00 ~ 15:10	上映映画紹介
15:10 ~ 16:50	映画上映
17:00 ~ 18:00	シネマトーク
18:00 ~ 19:30	懇親会(01304)

シネマトーク
イベント

イ・ジャンホ
監督の
来校



主催:目白大学韓国語学科 支援:韓国国際交流財団(KF-KOREA FOUNDATION)

韓国文化の発信源 目白大学

昨年大盛況に終わった韓国映画祭、今年も素敵な作品を上映します！昨年同様、韓国で有名なイ・ジャンホ監督をお迎えしその場でしか聞けないシネマトークを行います。この機会にぜひ目白大学の韓国映画祭にお越し下さい！

上映時間・作品紹介 会場:01200



「1987、ある闘いの真実」

12:40~ 130分

2017年韓国公開

1987年、一人の大学生が警察の取り調べ中に死亡。その裏側には、国家の恐るべき闇があった。絶対的権力を相手に、悪政国家を変える。「韓国民主化闘争」の全貌に迫る真実の物語！国内外の権威ある賞を多数獲得。

2018 TWIN Co.,Ltd



「外人球団 (1986)」

15:10~ 95分

1986年韓国公開

人気漫画「恐怖の外人球団」の映画化で地元韓国では大ヒットを記録。1986年度観客、第1位。高校時代から野球に恋にとライバル同士のヘソンとドンタク。この二人がやがてプロ野球界で対決の時を迎えるまでを描く。永遠のライバルによる、財閥の娘オムジをめぐる熾烈な愛の争い等。

シネマトークイベント!!



“韓国の黒澤明こと、イ・ジャンホ監督”

1945年1月16日生まれ。29歳の若さで監督デビュー。デビュー作である「星たちの故郷(1974)」が韓国で大ヒットし、韓国映画界で注目を浴びた。韓国社会の貧富の問題を描いた「風吹く良き日(1980)」では監督と脚本まで担当する等、社会派監督である。

サラン(愛)映画祭で功労賞を受賞した。1995年の「天才宣言」発表以降、監督業を離れたが19年ぶりに「視線(2014)」の監督を担当、見事に復帰を成し遂げ、現役活動を行っている。第11回のソウルサラン映画祭でも功労賞を受賞している。

映画は全て無料での上映となります。先着順でのご案内となりますのであらかじめご了承ください。座席が無くなり次第ご案内を終了させていただきます。また会場のつくりにより一部の席で字幕が見づらい場合がありますのでご了承ください。

※ 座席は100席を予定しております。

映画祭の様子

